

I. 南京大学への教員派遣事業

1. 派遣教員

派遣教員	武藤 康弘	奈良女子大学研究院人文科学系人文社会学領域 教授
------	-------	--------------------------

2. 派遣期間

10月30日(火)～11月5日(月) 7日間

10月30日(火) 関空発 上海浦東空港経由、高鉄にて上海虹橋駅から南京へ

10月31日(水)

～2日(金) 南京大学仙林キャンパスにて集中講義。

11月3日(土) 高速鉄道にて蘇州へ移動、薬房調査の後、上海へ移動。

11月4日(日) 上海文廟旧書市にて研究資料の収集、七寶山古鎮等見学。

11月5日(月) 上海浦東空港 発 関空 着

3. 事業概要

3-1 シラバス

テーマ 日本の伝統文化と現代文化

・ 教育目標

日本の伝統文化と現代文化の分析をとおして、日本の文化の多様性を理解することを目的とする。

・ 受講者に対する要求

授業は日本語で行うため、簡単な日本語力が必要。ただし、いちばん求められるのは、日本の多様な文化への「興味」があること。

・ 授業計画

- ① 日本の伝統文化の概要 稲作と信仰
- ② 日本各地の伝統文化、日本各地の祭礼と伝統芸能
- ③ 日本の現代文化 J-p o pの軌跡から初音ミクまで
- ④ 日本の現代文化 アニメ：セーラームーン
- ⑤ 日本の現代文化 クールJAPANと JAPANブランド

・ 授業形式

パワーポイントを使用して、映像も交えながら講義形式で行う。

- ・ 教材と参考書

教材は教師自身が作成した資料を配布する。また、参考図書については授業中に紹介する。

- ・ 成績評価方法

授業の内容に関するレポートを提出。

3-2 講義概要

11月1日

「古都奈良の宗教世界」では、中国の学生にはなじみない日本固有の宗教である神道について解説を行った。また、世界遺産である古都奈良の文化財に関するビデオを上映しながら、なぜ千年以上前の建築物が保存されているのか、その裏にはどのような先人の苦労があったのかを解説した。また、このような有形の文化財だけではなく、奈良では春日大社の舞楽や中世の能楽や題目立に代表される神事芸能のような無形の文化財も数多く伝承されていることも紹介した。そして、南都楽所の練習に参集し、楽器や舞の練習をする子供たちの映像も提示して、無形の文化財を市井の人々が世代を重ねて伝えていくことの大切さを教示した。

11月2日

映像資料をもとに、北海道から沖縄までの日本の伝統的な祭礼を紹介した。日本の様々の地域の季節毎の祭礼について、映像をもとに解説したので、学生達は大いに興味をもったようであった。特に、長野県諏訪大社の御柱祭と、大阪岸和田のたんじり祭が好評であった。工業化とシステム化された現代日本で、このような豪快な祭礼が古くから伝承されていることに、学生たちは驚いていたようであった。

11月3日

最終日は、日本の現代文化を講義した。はじめに FEN から始まる日本の音楽放送の文化と J-pop の歴史についてとりあげ、最後に初音ミク等のボーカロイドの進化について解説した。音楽映像クリップを多数紹介したので、中国でも人気のある日本人歌手 Misa や中国の薩頂頂等のエスニックな音楽の類似性等に学生達は興味をもったようであった。次に、ブランドデザインやクールジャパン等のソフトパワーの海外展開について解説した。最後にセーラームーンを切り口に、日本のアニメと特撮映像について解説をして、3日間の講義をしめくくった。